

さいたま市PTA協議会
 広報紙コンクール
 ≪ 受賞作品一覧 ≫

令和2年度審査結果

	賞	広報紙名	P T A名 (学校)
小 学 校 の 部	優 秀 賞 (6校) 日本P T Aコンクール 推薦作品	かみおちあいNEWS	上落合 小学校
		みぬま	見 沼 小学校
		東みやした	東宮下 小学校
		さいど	道祖土 小学校
		なかもと	仲 本 小学校
		松ぼっくり	大砂土東 小学校
	佳 作	はるの	春 野 小学校
		あおば	与野西北 小学校
		ぬくもり	蓮 沼 小学校
		むつみ	仲 町 小学校
		よしたけ	神 田 小学校
		さかわ	栄 和 小学校
		のだ	野 田 小学校
		ゆずり葉	下落合 小学校
北斗	大宮北 小学校		
中 学 校 ・ 特 支 学 校 の 部	優 秀 賞 (4校) 日本P T Aコンクール 推薦作品	飛翔	西 原 中学校
		さいたま八王子	八王子 中学校
		H A R U S A T O	春 里 中学校
		おおとり	埼玉大学教育学部附属中学校
	佳 作	上大久保	上大久保 中学校
		もとぶと	本 太 中学校
		春野	春 野 中学校
		希望を胸に	美園南 中学校
		寿能台	大宮北 中学校
		やわらぎ	三 室 中学校

応募作品数

() は全体数

小学校	中学校・特別支援学校	合 計
29 (103)	16 (62)	45 (165)

※表彰式…さいたま市PTA協議会定期総会(6月19日・土)にて表彰し、PTA会長に
 賞状を授与します。

令和2年度さいたま市PTA協議会広報紙コンクール

＜ 総 評 ＞

ZOOMでの参加された方も含め、皆さんお疲れ様でした。2020年度はコロナの影響が大きく、PTA活動も大変だったと思います。

例年よりも応募作品の数が多く、広報紙のボリュームもあります。今回の審査対象は例年と比べると作品数では小学校で1/3、中学校で1/4程度ではないでしょうか。そのため、審査においてはじっくり見ることができました。前回のコンクール作品より今回の作品の方がコロナの影響を大きく受けています。広報紙コンクールの審査もできるかどうか大変心配していました。

去年は通常6月に行われているさいたま市の広報紙講習会もできていません。東京都内の区によっては、秋口になって、PTAでは60名程度の皆さんに参加していただいてオンライン研修会を実施したところがあります。私もオンライン講習会の講師は初めてだったので、講習の結果どのような広報紙が出来てくるのか楽しみでもあります。

今回の審査対象はコロナ禍という事もあり、年間発行回数が1回でも受けました（例年は発行回数2回以上が応募条件）が、実際には3回発行した学校や1回の発行でもみっちり内容が充実しているところ等があり、例年と同じように評価していいのか、どう評価するのがいいのか少し迷いました。

卒業特集では例年は生徒たちが中心ですが、今回は先生方のお祝いメッセージが多く見られましたのも、コロナ禍での特徴でした。学校内への立ち入りや子どもたちの取材が制限されているなかでの工夫なのかもしれません。行事での写真撮影などもできなかった学校もあると思います。

そんな困難な中でも、ある小学校の作品はとんでもなくいいものがありました。むしろ例年よりも企画が充実していたように感じました。思うように動けないからこそその努力が高評価につながりました。例えば1号の中に2つも3つも企画が組まれていたり、保護者も先生方も関心が持てるような内容を取り上げていました。審査員の評価点数は1作品25点満点なのですが、それ以上の優秀な出来だったと思います。広報紙はPTA活動を取り上げるものではありませんが、コロナ禍で活動制限のある中では、活動自体が本当に難しかったと思います。それでも、リモートインタビューや地域活動を見直すような記事などが目につきました。例えば、子どもたちのボランティア活動も、福祉施設への訪問ができないなか、YouTubeなどでパフォーマンスを撮影して施設の方に観ていただくというような工夫があった。こうした活動の審査にも関わっていますが、様々な工夫が凝らされていて大変勉強になりました。PTAも同様に、コロナ禍の状況で、いろいろ知恵を絞りながら、コンクールに出品して頂いただけで高評価に値するのだと思います。

例年より企画的なものは少なくはなりましたが、この様に困難な時期にこれだけの活動を頑張っている皆さんがいらっしゃる事に敬意を表します。コロナの影響が軽減して、今年度の活動が活発になって次回はどんな広報紙と巡り合えるか、期待したいです。

令和2年度広報紙コンクール最終審査
令和3年4月10日 市民会館おのみや
審査委員長 矢吹 正徳 様
(元日本教育新聞社取締役編集局長)